

名神名阪連絡道路の
早期事業化を

名阪国道、新名神、名神を結ぶ30km区間のうち、三重県名阪国道上柘植インターチェンジと新名神高速道路甲賀土山インターチェンジまでの10km区間を結ぶ連絡道路の早期事業化をめざす「名神名阪連絡道路の整備区間指定を実現する会」の総会がこのほど開催されました。商工関係団体や市民で構成される同会の総会には、伊賀市の同名の会を含め58名が参加しました。

当日は、来賓として中嶋市長も出席し、新会長に就任した廣岡茂樹氏は、「我々の世代で地域の活力と安心できる生活環境を実現できるように全力を尽くす」とあいさつしました。

また議事では、道路整備が地域の安全と活性化に繋がるとして粘り強く取り組むことの決意が採択され、今後も早期実現に向け伊賀市、甲賀市の同会

実現する会が総会を開催

と両市が連携して国や県などの関係機関への働きかけを強めることが確認されました。



▲総会で祝辞を述べる中嶋市長

子どもたちの施設を快適に

8月から9月にかけて、市内の小中学校、幼稚園、保育園、子育て支援センターなどで施設修繕奉仕活動が行われています。

この活動は、将来のまちの担い手である子どもたちが、安心・安全で快適に学ぶことができるよう毎年行われているもので、甲賀市商工会（建設業部会水口支部・土山支所建設部会・信楽建築同業組合）、滋賀県電気工事工業組合信楽支部、滋賀県建築組合土山支所、甲賀市管工事協同組合の方を中心に取り組んでいただいています。

このうち8月28日には、甲賀市管工事協同組合が、



▲施設の修繕作業（信楽小学校）

教育施設修繕奉仕活動



▲トイレの水洗設備の調整（甲南中学校）

上下水道設備の点検と修繕作業を行いました。

この活動は、甲賀市管工事協同組合（42社）となつてからは初めての取り組みで、今回は22名の組合員が参加しました。甲賀・甲南地域の小中学校や幼稚園、保育園の水道設備や排水設備を点検し、水の止まりにくい蛇口のパッキン交換やトイレの水洗設備の調整などを行いました。

皆さんの熟練の技で、電気、水道、左官、大工修繕が行われ、子どもたちは、綺麗になった校舎・園舎で新学期を迎えることができました。

多羅尾代官陣屋跡を見学

多羅尾の寺子屋

地域の歴史を再発見するため、地域の史跡などを訪れる「多羅尾の寺子屋」が8月25日に開催されました。当日は、市内の方を中心に20名が参加し、普段は立ち入りが禁止されている多羅尾代官陣屋跡などを見学しました。

信楽の最南端に位置する多羅尾は、江戸時代に代官を勤めた旗本多羅尾氏の本拠であり、代官所が置かれていました。

当時の建物は現存しませんが、高台に造成された広大な敷地や、石垣、庭園などが今も残ります。

参加者は、歴史文化財課の職員から代官所の役割や、暮らしぶりなどの説明を受けながら、当時の多羅尾に



▲当時から残る多羅尾代官陣屋跡の石垣を見学する皆さん

思いを馳せていました。

甲賀に響く100人太鼓

「和太鼓サウンド夢の森2012」が8月25日、鹿深夢の森で開催され、県内外から多くの観客が訪れました。

和太鼓を通じた交流と文化の振興、地域の活性化を目的に実行委員会が15年前から開催しています。

県内外から計7組の和太鼓グループが競演し、市内からは、小佐治すいりょう太鼓、甲賀忍玉太鼓団が出演しました。

また今年も、滋賀県立伊吹高等学校書道部により、太鼓の演奏に合わせた書道パフォーマンスが行われ、書き上げられた「夢」「絆」の文字がステージを飾りました。

フィナーレは出演者全員で演奏する100人太鼓で、約1,300名の観客を魅了しました。

親子ふれあい音楽広場

素朴な音色を親子で



▲よし笛の音色を楽しむ親子

「親子ふれあい音楽広場」が8月22日、サントピア水口で開かれ、親子70組約150名がミニコンサートやふれあい遊びなどを楽しみました。音楽を通して親子のふれあいを深めてもらおうと、市教育委員会が家庭教育支援事業の一環として開催しているものです。ミニコンサートでは、音楽グループ「ほっとらいん」の平尾美季さんが「コカリナ」やよし笛で、童謡やアニメソングを演奏しました。参加者は、素朴な音色を聞き入っていました。

和太鼓サウンド夢の森2012



▲迫力ある演奏を繰り広げる出演者